

しっぺいたろう [日本の民話えほん]



香山 美子/文 太田 大八/画 教育画劇

ある村では、毎年、神様に娘を1人捧げなければならなかった。実は神様の正体は「化け物」。化け物は「しっぺいたろう」を大変怖がっていた。はたして「しっぺいたろう」の正体とは……。



山の上に貝殻があるのはなぜ? はじめての地質学

アレックス・ノゲス/文 ミレン・アシアイン=ロラ/絵 岩崎書店

山の上で見つけた、たくさんのカキの殻。カキは海の生きものなのに、いったいどうしてこんな場所にあるんだろう。地層や岩石、化石などを手掛かりに、そのなぞと大地の変化のひみつを解き明かす。

よんでみませんか



3・4年生におすすめの本

2023年

柏市立図書館

としまかき 図書館からのお知らせ

「よんでみませんか」・「課題図書」は、読みたい人がたくさんいます。

「リクエストの本が用意できました」という連絡がきたら、早目に借りにきてください。



表紙と裏表紙 大野 隆司・版画

柏市立図書館

電話 04-7164-5346

<https://toshokan.city.kashiwa.lg.jp/>



フィボナッチ 自然の中にかくれた数を見つけた人

ジョセフ・ダグニース/文 ジョン・オフライエン/絵 さ・えら書房
子ども時代、「のうなし」とよばれていたフィボナッチ。今では、優れた数学者の一人と考えられています。自然界にある多くのものが、決まった「数」でできていることを発見したのです。



すてきなひとりぼっち

なかがわ ちひろ/作 のら書店
一平くんは、絵をかくのが好きな男の子。クラスでもひとりぼっちになりがちですが、ある日、とってもすてきな発見をするのです。小さな発見をあたたかく描いたものがたり。



ぼくがゆびをばちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集

齊藤 倫/著 高野 文子/画 福音館書店
ぼくはきみに一さつの詩集を手わたす。「ここんどこ、読んでみな」。詩って何だろう。二人の何気ない会話を通して、楽しい詩の世界を味わえます。



こわいオオカミのはなしをしよう

ウィリアム・マクリーリー/作 岩波書店
マイケルは、パパが寝る前に聞かせてくれるお話が大好きです。なかでも一番のお気に入りには、とても怖いオオカミ“ウォルドー”が登場する作り話でした。さて、今夜はどんなお話になるのでしょうか？



草はらをのぞいてみればカヤネズミ

日本でいちばん小さなネズミの物語
ゆうき えつこ/文 福田 幸広/写真 小学館
日本でいちばん小さなネズミを知っていますか？草はらをそっとのぞいてみると……そこにいるのは体長6センチメートルのカヤネズミ。小さなからだで子育てをがんばる様子を、いっしょにみてみましょう。



三毛猫ホームズの宝さがし

みけねこ たから
赤川 次郎/著 汐文社
やく 約2か月前、「宝の地図」を手に入れた男。その日を境にあることに取りつかれ何もかも失ってしまったという。名探偵三毛猫ホームズシリーズ。他2編。



すいめん

高久 至/写真・文 アリス館
水面をさかいに広がる水の中の世界。その中でくらす様々な生物や海の中の様子やわたしたちのくらしとの関わりが鮮やかな写真でえがかれています。読めばきっと海の中をのぞきたくなる1冊です。



いのちの水 ブルガリアの昔話

ベネリン・バルカフ/絵 八百板 洋子/再話 福音館書店
ブルガリアの昔話。王様が、3人の王子に「永遠のいのちの水」をさがしだすよう命じました。3人は、それぞれのみちにわかれ、いのちの水をさがしにいきます。